

2025年12月



バージョン	説明
ASN1.0	<ul style="list-style-type: none">・伝票（納品案内書）レスを主目的に「日別出荷元別納品先別」の明細を卸売業に通知する
ASN2.0	<ul style="list-style-type: none">・伝票（納品案内書）レスや納品時の作業効率化のために「日別出荷元別納品先別車両識別コード別」の明細を卸売業に通知する。・出荷梱包番号 1 に値が設定されていること
ASN3.0	<ul style="list-style-type: none">・納品時の作業効率化のために「日別出荷元別納品先別車両識別コード別ユニット別」の明細を卸売業に通知する。・出荷梱包番号 1, 2 に値が設定されていること

ASN1.0の主な項目

納品日	出荷元	お届け先	商品	発注番号	メーカー	伝票番号 (メーカー発番)	入数	納品数
-----	-----	------	----	------	------	------------------	----	-----

* 納品日別[出荷元別](#)お届け先別の明細を把握することができる。

→伝票レス（納品案内書レス）に加え、納品日の納品総量が見えることで入荷準備に利用可能

ASNデータ1.0のデータ設定（出荷梱包番号 1、2 ともに値の設定なし）

①車両1台



メーカー A

納品日	出荷元	お届け先	商品	納品 ケース数	出荷梱包 番号1	出荷梱包 番号2
2025/7/24	〇〇運送 近畿事業所	卸売業A 関西センター	洗口液A	56		
2025/7/24	〇〇運送 近畿事業所	卸売業A 関西センター	歯磨きB	108		

②複数車両



メーカー B



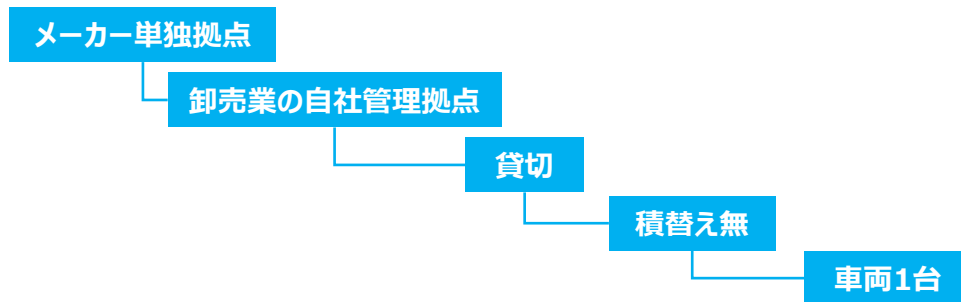
メーカー B

納品日	出荷元	お届け先	商品	納品 ケース数	出荷梱包 番号1	出荷梱包 番号2
2025/7/24	* * 配送 白岡倉庫	卸売業B 埼玉支店	子供用 紙オムツA	108		
2025/7/24	* * 配送 白岡倉庫	卸売業B 埼玉支店	子供用 紙オムツB	28		
2025/7/24	* * 配送 白岡倉庫	卸売業B 埼玉支店	大人用 紙オムツA	54		

ASN2.0（日別出荷元別納品先別車両識別コード別明細）の利用場面を以下の要素で整理した。

1. 整理の要素：発地－着地－配送手段
2. 発地：①メーカー単独拠点 ②メーカー共同拠点 ③物流事業者共同拠点
3. 着地：①卸売業の自社管理拠点 ②他卸売業預託拠点 ③特約店拠点
④小売業管理拠点
4. 配送手段：①貸切or混載 ②積替え無or有 ③車両1台or複数台

【パターン分けの例】



※貸切と混載の考え方

	路線	区域
混載		
貸切		

【場面整理の考え方】

1. 発地で設定する出荷梱包番号の考え方として整理した。
中継地（積替え有り）でのASN再作成は環境（物流面、IT面など）が整ってから整理する。
2. 整理した96パターンのうち、以下は想定しないこととした。
 - ・貸切で積替えが有るもの
 - ・メーカー単独拠点の混載で複数車両
→ 1台目が貸切、2台目が混載の場合があるが、2台目を「混載&1車両」と認識する。
3. 着地については、
「①卸売業の自社管理拠点 ②他卸売業預託拠点 ③特約店拠点 ④小売業管理拠点」と想定し、
複数箇所降ろしも考慮したが、データ設定方法に影響がないことがわかった。

利用場面のパターン（抜粋）

No	発地	着地	貸切or混載	積替え有無	車両 1 or複数	想定する？	出荷梱包番号 1	図示のパターン
1	メーカー単独拠点	卸売業の自社管理拠点	貸切	有	1	—		
2			貸切	有	複数	—		
3			貸切	無	1	○	車両内の荷をひと括りにする	1
4			貸切	無	複数	○	車両内の荷をひと括りにする	2
5			混載	有	1	○	車両内の荷をひと括りにする	1
6			混載	有	複数	—		
7			混載	無	1	○	車両内の荷をひと括りにする	1
8			混載	無	複数	—		
9		他卸売業預託拠点	貸切	有	1	—		
10			貸切	有	複数	—		
11			貸切	無	1	○	車両内の荷をひと括りにする	1
12			貸切	無	複数	○	車両内の荷をひと括りにする	2
13			混載	有	1	○	車両内の荷をひと括りにする	1
14			混載	有	複数	—		
15			混載	無	1	○	車両内の荷をひと括りにする	1
16			混載	無	複数	—		
17		特約店拠点	貸切	有	1	—		
18			貸切	有	複数	—		
19			貸切	無	1	○	車両内の荷をひと括り	※96パターンは別添参照

車両運行管理のGS1標準物流関連コード利用判断

GS1標準物流関連コードには、物流で使える識別コードとして、以下のコードが用意されている。

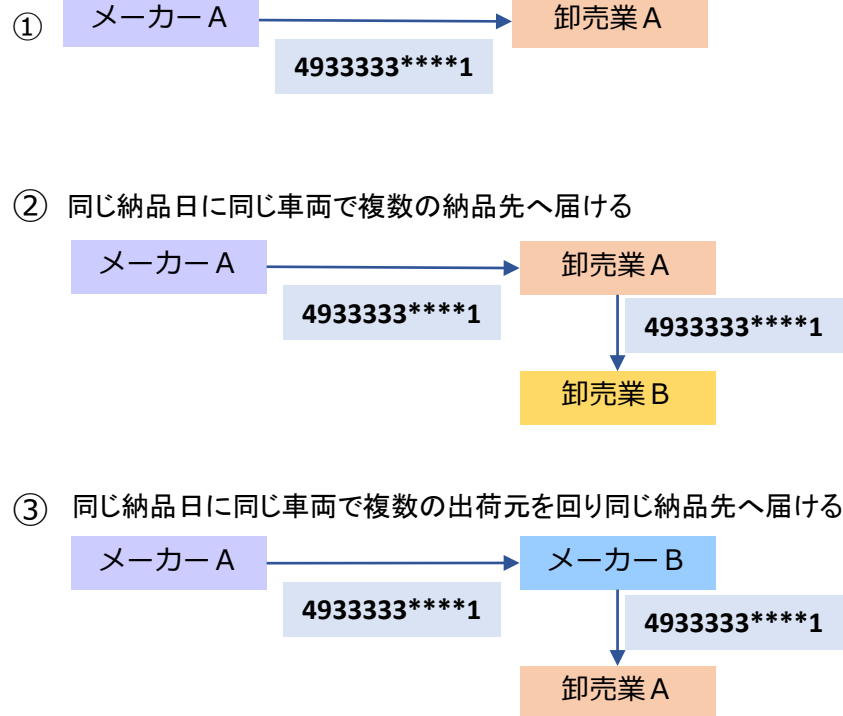
- ・製品を示すコード : GTIN (日本での通称はJANコード)
- ・場所を示すコード : GLN
- ・納品物を括る(輸送梱包単位の)コード : GSIN、SSCC、GINC
- ・物流資産(繰り返し使用するパレット、カゴ台車など)を管理するコード : GRAI ※企業間で使う資産を識別する
- ・車両やコンテナなどの資産を識別するコード : GIAI ※企業内で使う資産を個体識別する



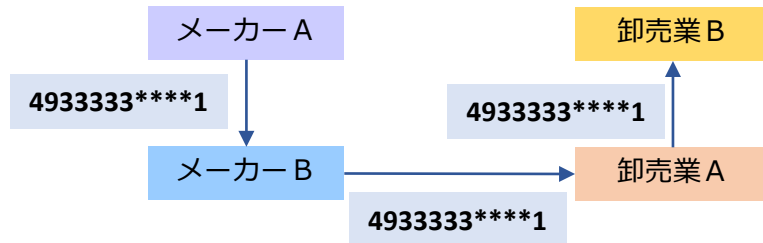
積載率の向上やCo2削減に取り組む際にキーとなる車両運行管理コードはGS1標準物流関連コードに存在しないと認識している。

さらに、国内管理に限っても適当なコード体系の存在やその実装の見込みはないと判断している。
そこで、日用品業界(ロジスティクスEDI)では、輸送梱包単位のコード(GSINやSSCC)を利用して、車両運行管理を行なうことを基本の考えとする。

車両識別コードのユニーク性 4933333****1



④「②と③」の組み合わせ



2. 出荷梱包番号 1, 2 に設定するコード体系

物流識別コードの種類

商品
GTIN(JAN)

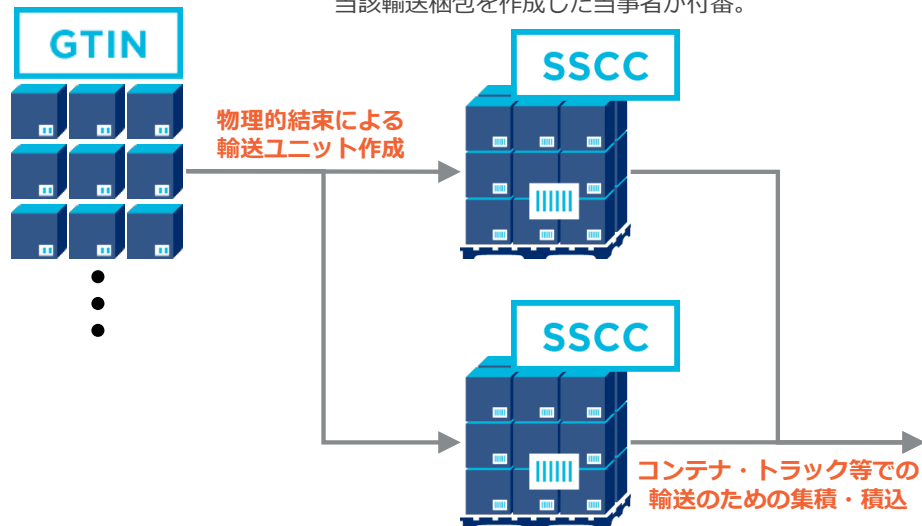
パレット
かご車など
SSCC

1車両内の括り
GSIN

商品
商取引の対象となる単位。
商品のブランドオーナーが付番。

輸送梱包
物流現場でのハンドリングのために、
物理的に固められたユニット単位。
当該輸送梱包を作成した当事者が付番。

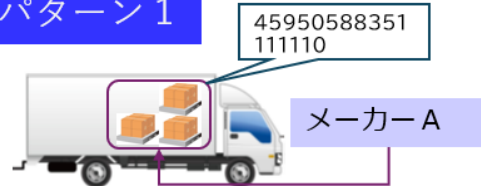
発注書・発送通知書ごとのグルーピング
複数の輸送梱包を発注書や発送通知書ごとにグループ化した
論理的な単位（物理的に固められている必要はない）。
発荷主（物流事業者）が付番。



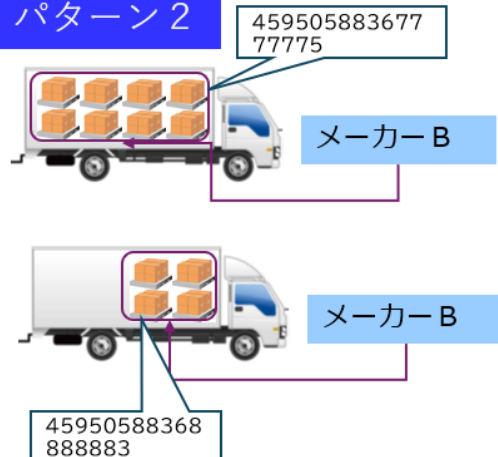
2. 出荷梱包番号 1, 2 に設定するコード体系

出荷梱包番号 1 にGSINを設定する例

パターン 1



パターン 2



納品日	出荷元	お届け先	商品	納品 ケース数	出荷梱包番号 1	出荷梱包番号 2
2028/7/24	〇〇運送 北関東倉庫	卸売業 A 埼玉支店	消臭剤 A	8 0	45950588351 111110	
2028/7/24	〇〇運送 北関東倉庫	卸売業 A 埼玉支店	消臭剤 B	4 0	45950588351 111110	

GSINで設定する

納品日	出荷元	お届け先	商品	納品 ケース数	出荷梱包番号 1	出荷梱包番号 2
2028/7/24	〇〇配送 西日本センター	卸売業 B 近畿セン ター	洗剤 A	1 9 2	45950588367 777775	
2028/7/24	〇〇配送 西日本センター	卸売業 B 近畿セン ター	洗剤 B	1 9 2	45950588368 888883	

2. 出荷梱包番号 1, 2 に設定するコード体系

出荷梱包番号 2 にSSCCを設定する例

パターン 1

45950588351
111110

メーカー A

04595058835
0000026

04595058835
0000019

パターン 2

459505883677
77775

メーカー B

04595058836
0000078

メーカー B

45950588368
888883

04595058836
0000085

納品日	出荷元	お届け先	商品	納品 ケース数	出荷梱包番号 1	出荷梱包番号 2
2028/7/24	〇〇運送 北関東倉庫	卸売業 A 埼玉支店	消臭剤 A	8 0	45950588351 111110	04595058835 0000019
2028/7/24	〇〇運送 北関東倉庫	卸売業 A 埼玉支店	消臭剤 B	4 0	45950588351 111110	04595058835 0000026

SSCCで設定する

納品日	出荷元	お届け先	商品	納品 ケース数	出荷梱包番号 1	出荷梱包番号 2
2028/7/24	〇〇配送 西日本センター	卸売業 B 近畿セン ター	洗剤 A	1 9 2	45950588367 777775	045950588360 000078
2028/7/24	〇〇配送 西日本センター	卸売業 B 近畿セン ター	洗剤 B	1 9 2	45950588368 888883	045950588360 000085

ASNデータ ヴァージョン別のデータ設定項目

	伝票レス項目	ASN 1. 0	ASN 2. 0	ASN 3. 0
		日別出荷元別納品先別	日別出荷元別納品先別 車両識別コード別	日別出荷元別納品先別 車両識別コード別ユニット別
納品日	◎	◎	◎	◎
出荷元	◎	◎	◎	◎
お届け先	◎	◎	◎	◎
商品	◎	◎	◎	◎
発注番号	◎	◎	◎	◎
お届け先住所	◎	◎	◎	◎
メーカーコード	◎	◎	◎	◎
伝票番号 (メーカー発番)	◎	◎	◎	◎
入数	◎	◎	◎	◎
納品数	◎	◎	◎	◎
出荷梱包番号 1			●	●
出荷梱包番号 2				●
賞味期限	△	△	△	△
パレット枚数	△	△	△	△
運転手情報	△	△	△	△

ご参考：輸送梱包の識別（SSCC、GSIN、GINC）

SSCCとは…

- ・商品等を運ぶ際には、パレットやカゴ台車などを使って荷役の効率化を図ることが多い。
このような運ぶ単位（輸送梱包単位）にユニーク番号を付けるための識別コードである。
- ・輸送梱包単位にユニークなSSCCが付いていることで、ひとつひとつの輸送梱包単位に対して積載商品の内容はもちろん、届け先情報などを明確に指定することができる。これらの情報はSSCCとともにラベルとして輸送梱包単位に貼付しておくことで、作業者は積載している中身について気にする必要がなく、SSCCを代表番号として輸送梱包単位を運ぶことに注力できる。
- ・積載内容など輸送梱包単位ごとの情報は、ユニーク番号であるSSCCに紐づけたデジタルデータとして届け先に事前に伝えることも可能*1であり、これによって届け先での受け入れ検品にも利用することができる。*1：ASN（Advanced Shipping Notice）
- ・国内ではあまり利用事例がないが、今後物流の自動化を考える場合には情報システムでも扱うことを前提に、グローバルにユニークとなる輸送梱包単位としてSSCCを検討すべきである。
- ・なお、複数の輸送梱包単位をグルーピングするためのGSIN、GINCなどもあるため、これらも含めて用途に合わせた検討をするべきである。

ご参考：SSCC

商流・物流におけるコード体系標準化WG

物流識別コード 輸送・梱包シリアル番号 SSCC: Serial Shipping Container Code

- 物流単位（例：段ボールケースを積みつけたパレット単位等）にシリアル番号付け
- 輸送梱包単位を作った事業者がコードを設定する。
- 物流梱包中の製品情報等は別途ASN等で共有／主に検品作業等の効率化に役立てられる。



※例はGS1事業者コードが9桁の場合。

※シリアル番号の桁数は事業者コードの桁数によって変わります。

※製配販連携協議会WG 商流・物流におけるコード体系標準化WG資料に加筆

ご参考：GSIN

商流・物流におけるコード体系標準化WG

物流識別コード 出荷識別番号 GSIN: Global Shipment Identification Number

- 出荷単位にグループ化して識別するための番号。
- 出荷者（販売者）がコードを設定する。
- 物理的に分かれている複数の物流単位をまとめて識別することが出来る。※物流単位にSSCCを設定している場合はさらにその上位レベルの単位として設定することが可能。

GSIN
(Global Shipment Identification Number)

17桁

4	5	6	9	9	5	1	1	1	1	2	3	4	5	6	7	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

GS1事業者コード（9桁）

出荷コード

チェックデジット

※例はGS1事業者コードが9桁の場合。

※出荷コードの桁数は事業者コードの桁数によって変わります。

GSINを使うことで、複数のSSCCを
1つのグループとして識別できる。



※製配販連携協議会WG 商流・物流におけるコード体系標準化WG資料に加筆

ご参考：GINC

- 委託された複数の物流単位をまとめて輸送する際にグループとして識別するための番号
 - 輸送を委託された事業者（運送会社）がコードを設定する。
 - GSINとは異なり、グループ化する貨物は物理的にまとまっている必要がある。例えば右下の図の場合のように1つのコンテナに入っている場合など。
- コンテナの荷物が一部でも取り出された段階で、当該GINCによる識別は終了する。

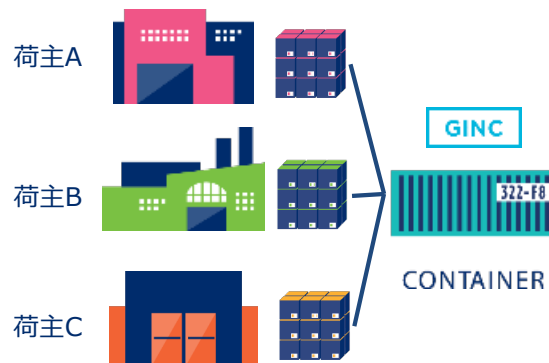


4	5	6	9	9	5	1	1	1	積荷コード (1~21桁)
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---------------

GS1事業者コード

※例はGS1事業者コードが9桁の場合。

※積荷コードの最大桁数は事業者コードの桁数によって変わります。



※製配販連携協議会WG 商流・物流におけるコード体系標準化WG資料に加筆

1. 当補助資料では、ASN3.0の設定例が示されていないのでは？
→「事前出荷案内（ASN）の活用による納品伝票レス・検品レス運用ガイドライン」の範囲はASN2.0までを利用した業務オペレーションを示しているため、その範囲に留めました。
ASN3.0の設定例はプラネットの出荷予定データ仕様書で確認をお願いします。

2. ASN1.0とASN2.0の差は、出荷梱包番号1の設定有無でよい？
→その通りです。ASN2.0では「出荷梱包番号1に車両識別コード」を設定しますので、
車両の括りが明確でない場合は、ASN1.0として出荷梱包番号1には値を設定しません。

株式会社プラネット セールス&サービス推進ユニット

森 高宏、上原 英智

logi@planet-van.co.jp

TEL:03-5962-0811



広く遍く、消費財流通の
情報インフラであり続けます

